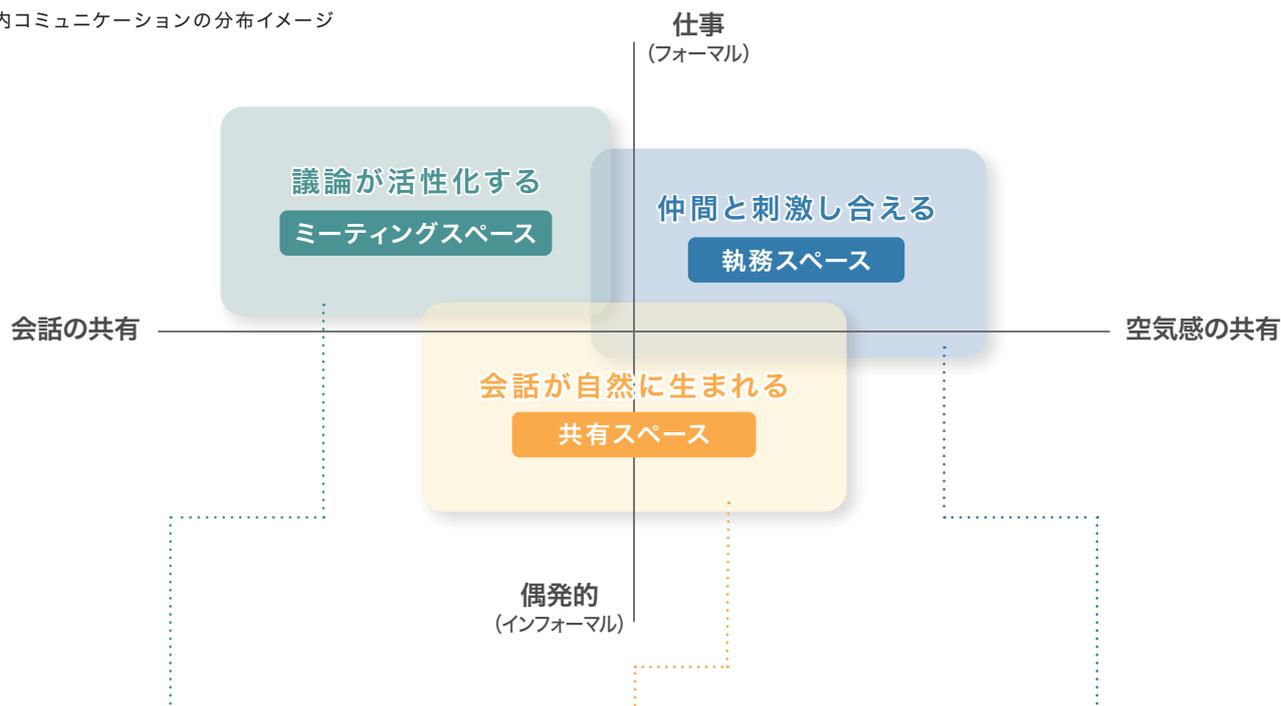


関係性を育む、これからのオフィスづくり。 プラスが提案する「イゴコチメイキング」

プラスが考えるイゴコチとは、家具の使い心地などの「物理的な心地よさ」に加え、
ワーカーの気持ちに寄り添い、周囲との関わり方まで含めた「社会的な心地よさ」を整えることです。
仲間と刺激し合える執務スペース、議論が活性化するミーティングスペース、会話が自然に生まれる共有スペース。
状況や関係性に合わせて、「イゴコチ」が生まれる空間をデザインします。

■社内コミュニケーションの分布イメージ



前向きミーティング

みんなの視線と姿勢が、同じ方向を向く。それだけで、空気感がひとつになり、集中力が高まる。そのような状態をうむ「前向きミーティング」のレイアウトを提案します。共有モニターと仲間の表情が自然と視界に入るように設計された空間は、物理的な“前向き”が心理的な“前向き”を引き出し、議論の質を高めます。



ミーティングチェア →P.211
ワークラウンジ →P.245
会議テーブル →P.305

雑談

雑談は、人間関係を円滑にするだけでなく、仕事を進めるうえでも大切な潤滑油です。人が自然と集まる仕掛けに加え、自由に会話をしやすい空間設計が、部門や役職の壁を越えた偶発的なコミュニケーションを促します。



ワークラウンジ →P.245

ピア効果

目的の近い仲間が同じ環境に集まることで、互いに刺激し高め合えるピア効果。チームでかたまっても結束力を高めたり、活気や交流を求める人たちが集まったり、静かに集中したい人同士のやる気が伝播したり。人と人をつなぐゾーニングの考え方によって、執務空間にピア効果が生まれます。



フリースタイルデスク →P.009